

「女風」を先取りしたテレビドラマ

— 『宮廷女官～チャングムの誓い』を手掛かりとして—

崔 寶 允

1. 「女風」とテレビドラマ

現在、韓国社会では女性たちの活躍が目覚ましい。過去7年間で韓国の官界や法曹界での女性の比率は急速に高まっている。その例を挙げると2009年の行政考試¹の女性合格者は46.7%で、同年の司法試験でも女性合格者は35.6%となり、2008年任用された裁判官や検事の半数近くは女性であった²。

また、2012年4月11日に実施された第19代国会議員選挙（定数300人）で47人の女性国会議員が誕生し、女性議員の割合は15.7%で過去最多を記録した³。約半世紀以上一桁だった女性議員の比率が、2004年に行われた第17回目の選挙を境に13%となり、次第に増加している。

他の専門職においても女性の躍進は目覚しく、2008年時点で医師全体の21%、歯科医の24%、薬剤師の64%が女性である⁴。女性の大学進学率も年々増加し2009年には82.4%で、81.6%である男性を抜いた⁵。このような現象を韓国では「女風（ヨブン）」という。

女性の社会的躍進の背景には、過去20年間韓国全体に広がった市民運動が挙げられる。独裁政権の打倒と民主化促進に女性層が大きく貢献した80年代以降、女性の地位向上は社会改革の最前線に掲げられた⁶。民主化後、男女平等思想が広まり、政府は女性たちの社会進出を促すために様々な女性支援策を作り出した。1995年には「女性発展基本法」が制定され、女性の登用が極めて少ない分野を解消するために「女性採用目標制⁷」を導入した。1998年には「男女雇用平等法」の改正、1999年には「男女差別禁止法（後に廃止）」の制定、2000年以降は、候補者の一定数を女性候補者に割り当てる「クォーター制」が段階的に導入された⁸。そして2001年は、女性の地位向上や社会参与に関する政策を担当する「女性部⁹」

が創設された。これによって女性たちは社会の先頭に立って活躍できるようになったのである。

ここで筆者は、このような「女風」を先取りし、女性たちの主体性の確立に影響を与えたドラマ『宮廷女官～チャングムの誓い』（以下、チャングムの誓い）（2003、MBC）に注目したい。『チャングムの誓い』は男尊女卑という封建的な体制下で、卑しい身分の女性が生まれ持った才能と努力の末、宮廷料理人を経て王様の主治医にまで上り詰め、活躍する姿を描いたものである。

このドラマは、女性の社会参与と女性の能力開発の必要性、女性同士の友情を示唆すると同時に、歴史に埋もれていた一人の女性の意味ある成功例を紹介したと評価され、2004年女性部が主催した「第6回男女平等放送賞」の大賞を受賞した¹⁰。

ドラマの話題性と人気は韓国だけではなく、海外にも伝わった。韓国で最高視聴率57.8%を記録した¹¹『チャングムの誓い』は、2004年には台湾のGTVで放送され6.22%の視聴率を記録し¹²、時代劇が海外で受け入れられるのは難しいとされるジャンル上の限界を克服した。ローカルを含む台湾全体プログラムの中でも視聴率1位を獲得し、アンコール放送までされたのである。

続いて2005年、香港のTVBが『チャングムの誓い』を放送し、最高視聴率47%という驚異的な記録を残した¹³。これは香港の放送史上初の出来事である。香港のマスコミは不義に妥協せず、どんな苦難にもめげずに志を貫くチャングムの姿から「チャングム精神¹⁴」、「チャングム哲学」という流行語まで作り出した。

日本では、2004年10月7日からNHK-BS2で放送が始まった。その後、視聴者の要請によって2005年7月に同チャンネルで再放送され、2005年10月にNHKの地上波での放送が決まった¹⁵。

当初、日本では馴染みがない朝鮮王朝時代を舞台にした時代劇なので、どれだけ視聴者の関心を集められるかNHKも半信半疑だったという¹⁶。しかし、『チャングムの誓い』はこれまで韓流ドラマと無縁だった男性視聴者たちをも引き入れた。NHK-BS2の担当者は「視聴者の掲示板に載せられた文を見てみると、『冬のソナタ』の場合、男性視聴者は10%くらいだったが、『チャングムの誓い』は40%くらいが男性視聴者の文だった¹⁷」と伝えた。その人気ぶりは日本や他のアジアの国々だけではなく、中東（イランでは視聴率90%を記録した）やアフリカにまで及び、計64カ国で放送された¹⁸。

本稿では、『チャングムの誓い』が提示した新たな女性像について考察していく。

Ⅱ. 『宮廷女官～チャングムの誓い』（2003、MBC）

従来、ドラマの中の女性主人公は、従順で忍耐強く家族のために自分を犠牲にする「良妻賢母」型が多かった¹⁹。時代劇においても女性主人公は、引き立て役として描かれ、良妻賢母型の本妻もしくは、王様の背後で陰謀を企てる権力欲の強い悪女型が多かった。

今まで時代劇で頻繁に取り上げられてきた女性主人公には、朝鮮時代の三大悪女と呼ばれるチャン・ノクス（張緑水²⁰）、チョン・ナンジョン（鄭蘭貞²¹）、チャン・ヒビン（張禧嬪²²）がある。彼女たちは男尊女卑思想が澎湃していた時代的な状況の中で、男性を通して人生の目標を達成していくしかなかった。従って、見方によっては目的のために手段と方法を選ばなかった人物に描かれる場合もあるが、大体のドラマで彼女たちは極端な性格の持ち主であり、女性同士で引き摺り下ろすなど、否定的に描かれている。また、このような女性たちは悲劇的な最後を迎えることで懲らしめられるのが特徴である²³。

しかし、2003年から新たな女性像が次々とお茶の間に現れ、視聴者たちを虜にした。2003年は、男女平等を大きな柱として既存の権威主義社会に反旗を翻した盧武鉉氏が大統領に当選し、国民たちは社会変革への期待で胸を膨らませていた時期だった。盧武鉉大統領は女性のカン・グムシル氏を法務大臣に大抜擢するなど、果敢な人事を行っ

たことで話題になった²⁴。

そして同年7月に放送された『チェオクの剣（原題：茶母）』（MBC、全14話）から女性主人公に変化が現れた。本来茶母は、官庁に所属されお茶汲みをしていた身分の低い官婢²⁵であった。儒教の男女有別意識が根強かった朝鮮時代、捕盗庁^{ボドチョン}²⁶では母屋の搜索、女性容疑者及び囚人を扱う時に茶母もしくは医女²⁷を動員したという²⁸。

つまり、茶母は朝鮮時代の女性刑事なのである。茶母嬬人という言葉ができるほど、熱狂的なファンを生み出したこのドラマの魅力は、朝鮮時代に女性と賤民という二重の縛りから苦しめられながらも仕事と恋愛において逆境を乗り越えていく進取的な女性像を提示した点である。

『チェオクの剣』に引き続き、賤民女性を主人公にしたのが『チャングムの誓い』である。このドラマは料理、医術など専門的な知識と実力で競い合う女性たちを登場させ、既存の時代劇が宮廷の女たちの猜忌、暗闘を極大化していたのとは違って差別化される。『チャングムの誓い』のあらすじは以下の通りである。

子供の頃両親を亡くしたチャングムは、母親の遺言を守り、10歳の時水刺間^{スラツカン}²⁹に入った。チャングムは師匠であるハン尚宮³⁰のもとで料理の修業を積む。そこには母の毒殺を企てたチェ尚宮もいた。水刺間を取り仕切る最高尚宮は、代々チェ尚宮の一族が受け継いできたが、中宗^{チュンジョン}³¹王の命のもと、料理対決で決められることになった。その結果、ハン尚宮が就任し、チェ尚宮は閑職へまわされる。

そんなある日、中宗が病気で倒れたという噂が立ち、チェ尚宮は料理のせいにするを思いつき、陰で策略をめぐらす。結局、チャングムはハン尚宮と一緒に流刑を言い渡され、済州島に追い出される。

済州島で官婢生活を送っていたチャングムは、医女のチャンドクから医術を学び、医女として再び宮中に入る。医女の先輩であるヨリをはじめ、チェ尚宮らの陰謀で幾度となく瀬戸際に立たされるが、全ての逆境を乗り越えたチャングムは女性としては史上初、王様の主治医になる³²。

全54話の『チャングムの誓い』は、1話から27話までの前半は水刺間の料理人であるチャン

グムの姿を描き、後半に当たる 28 話から 54 話までは王様の主治医になる過程と主治医としての活躍を描いている。本稿では、医女チャングムに焦点を合わせて女性像を分析していくことにする。

チャングムは朝鮮時代に実在した人物である。『朝鮮王朝実録³³』で中宗時代を見ると、「長今(チャングム)」という医女のことが 10 箇所ほど記述されていて、中宗の言葉として「予の体は医女がこれを知るなり」と記されている。

また、「チャングム」という名前の前に「大」という字をつけて「大長今」という表現も見られるが、この「大」は王が力を認めた者に与える称号で³⁴、「大長今」は偉大なるチャングムを意味する。

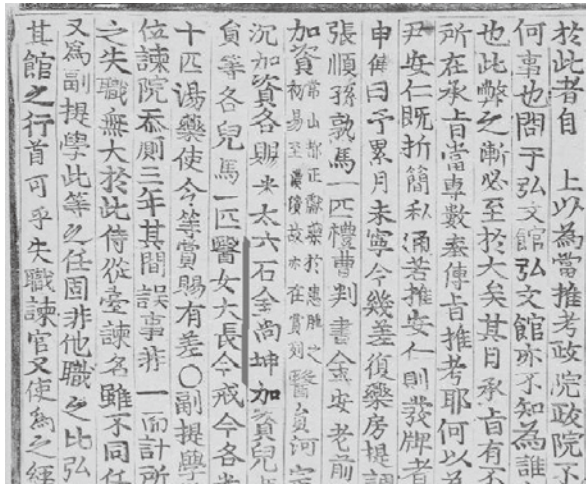


図 1. 「大長今」の称号³⁵

(『中宗実録』73 卷、1533 年 2 月 11 日)

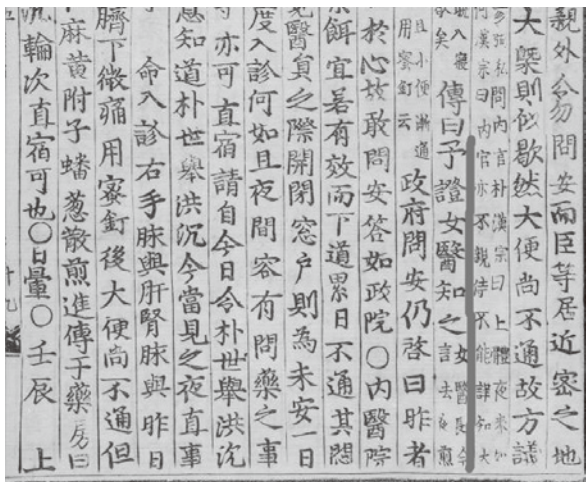


図 2. チャングムに関する記述³⁶

(『中宗実録』105 卷、1544 年 10 月 26 日)

図 1 と 2 からチャングムが中宗から絶大な信頼

を寄せられるほど、優れた医女であったことが分かる。しかし、当時の男性中心の官僚主義社会で医女という賤民女性が幾多の男性医官を追い抜いて王の主治医になることは、不可能なことだった³⁷。そのような時代に、歴史に残る偉業を達成したチャングムは、彼女の人生それ自体がドラマチックであるといえる。ドラマの制作側は『中宗実録』の数行にわたる記述を基にストーリーを再構成した。前半、チャングムが水刺間の料理人として活躍する部分は作家の想像力によるものである。

Ⅲ. 男性の牙城を崩した女性、チャングム

朝鮮時代の支配思想であった儒教では万物の生成が天と地の原理、すなわち女性的な原理と(陰)と男性的な原理(陽)が関係を結ぶことでなされると見なした³⁸。このような考え方は自然に男女の役割分担論をもたらし、「内外法³⁹」を生み出した。男性の役割は「外」、つまり家族外における生活全般(「公」の領域)にあり、女性の役割は専ら「内」(「私」の領域)に限定され、公的な領域から排除されていた⁴⁰。

この規範は家屋の構造にまで影響を与え、男性は「舎廊房(サランパン)」、女性は「内房(アンパン)」に区分され、お互いの生活領域に出入りすることは厳しく制限されていた。儒教は女性を家庭に隷属させたのである。このような時代にチャングムは、病で倒れた王様を脈診したいと申し出るほど気丈な女性である。

チャングム：無礼は承知していますが、処方
を誤ると王様のお命が危険です。

文定皇后：医局長に治療を任せよう。(中略)

チャングム：お願いです。

私に王様の脈診をお許しください。

大臣たち：医女が王様のお体に触れるなど…

チャングム：医女とはいえ術を施すもので
す⁴¹。

(『チャングムの誓い』46 話、下線は筆者)

内医院⁴²の医務官たちの診察と処方にも王様の病勢は悪化するばかりであった。窮余の策とし

て皇后は、内医院を差し置いてチャングムに中宗の病因を調べさせる。病因と治療法は見つけたものの、チャングムは病名の特定までには至らなかった。ほどなくして王様の容態が急変、ついにチャングムの処方を行うことになる。しかし、これはかなりの危険を伴うことであった。たとえ皇后といえども、自らの意思だけで医女に中宗の病因を調べるように命じる権利は与えられていなかった⁴³。それは宮中の掟に反することを意味していたのだ。チャングムが失敗したら皇后もその座から下ろされる羽目になる。そのような緊迫した状況で、皇后、内医院の医務官たちが見守る中、チャングムの診察が始まった。



図3. 王様の病気を治療するチャングム

チャングムは、王様に針を打ち、薬の処方をし、夜通しマッサージを施した。すると数日後、ようやく中宗に快方の兆しが現れた。内医院の医務官ですら突き止められなかった王様の病因を探り出し、治療法を見つけたチャングムの優秀さに回りは驚くばかりであった。そして、快癒した中宗は重大な決断を下す。

中宗：そちたちは母上や皇后、王子や余の病を治したチャングムの功績を認めるか？

大臣たち：はい、王様。

中宗：また、食中毒を疫病と間違えた際、的確な判断で正し被害の拡大を食い止めたこと、天然痘の流行の阻止もチャングムの功績だな？

大臣たち：はい、王様。

中宗：余は王として 医術に秀でたチャングムに 正三品堂上官の地位に値する「大長今」 の称号を授け、余の主治医に任命する。

女人に官位を与えることは経国大典に反するゆえ、大典にある官位は与えぬが、正三品堂上官の地位に値する「大長今」の称号を授ける。

これは世襲されず1人に例外的に適用する。また、医女チャングムは正三品堂上官の主治医だが、内医院の総括はせず、余の治療のみ受け持つ。

直ちに辞令を書き医女チャングムに伝えよ。

(『チャングムの誓い』53話、下線は筆者)

中宗の決断とは、チャングムに官職を与え、自分の主治医にすることであった。しかし、女性に官職を与えることは経国大典を無視することと、大臣や皇太后の猛反対にあう。以下は、中宗の命に反対する大臣たちの台詞である。

大臣1：医局長や医務官を差し置いて医女が主治医を務めるなど言語道断だ。あつてはならぬことである。そちが辞退を申し出ればあとは私が何とかする。

大臣2：反対しておりますのは大臣だけではなく皆同じです。お考え直してください。

大臣3：この国は男女の秩序の上に成り立つ国です。医女の身で王様のお体に触れるなど国の根幹を揺るがすことでございます。

(『チャングムの誓い』50話、下線は筆者)

大臣：王権によるご命令ですので我々一同従いましたが、経国大典に逆らうとの意見に 変わりはありません。これは 両班階級の 名譽を踏みにじることで、 両班の身で そのような進言をした同副承旨 ミン・ジョンホの追放を要請いたします。

(『チャングムの誓い』53話、下線は筆者)

こればかりではなくチャングムは、同僚の医女たちからも反対される。しかし、チャングムに医術を伝授した師匠のチャンドクと影でチャングムを支え続けてきた恋人のミン・ジョンホだけはチャングムが王様の主治医になることを後押しし

てくれた。

チャンドク：主治医におなり。1日でもいい。
私は親の敵を討ちたくて医女になっ
たけど、どんな病も治そうと頑張った。
でも、いくら頑張っても医女は医女だ
った。患者からも信頼を勝ちえたこと
はなかった。病を治しても多くの人は
一夜の伽で褒美でも受けた気でいた。
私はそれに負けまいと強気を装ったわ。
「それでも女か」とも言われた。私が望
んだのは褒美でも名誉でもない。男と
同じように認められたかった。
自分の仕事への情熱をね、医女も精進
しだいでは男に負けないことを見せる
のよ。女も医術の道で目標を達成でき
ると知らしめて。お前には才能も小意気
もある。
1日でもいい。
命をかけてもおやり。

(『チャングムの誓い』50話、下線は筆者)

ミン・ジョンホ：辞退してはいけません。(中略)
(以下、ミン) 王様の主治医になれば、この
国の歴史で初めての女性の主治
医です。

チャングム：名誉など望みません。

ミン：名誉のためではなく、幼い頃の疑問を
思い出せと言っているのです。
身分が低いとなぜ学べないのか。
なぜ女はウサギを追いかけてはダメか。
そんな疑問を持った。だからここまで
走ってきた。不可能に思えることも成し
遂げた。

私が戻るのは右大臣殿や保身のためでは
ありません。勢力争いも大事だが、歴史
の中ではありふれたこと。どうにでも流
れていく。

でも、チャングムさんが王様の主治医に
なれば、それは歴史に残ることです。

それだけの技量も持っている。地位にふ
さわしい人材を置くことは勢力争いより
はるかに重要なことです。

私がやるべきことです。

主治医におなりなさい。

(『チャングムの誓い』50話、下線は筆者)

チャンドクに女性も医術で認められるべきだと言われ、王様の主治医になれる技量を持っているからこそ、史上初の女性主治医になって活躍してほしいと言うミン・ジョンホの言葉に勇気付けられたチャングムは、熟考の上王様の命を受けることにする。



図4. 中宗の主治医となったチャングム

『チャングムの誓い』は時代劇でありながら現代にも通用する女性の成功ストーリーである。脚本を書いたキム・ヨンヒョン氏は、ドラマを通して伝えたかったことについて、

現代社会でも、女性は仕事上、さまざまな制約を受けることがありますよね。チャングムが自分の力で前に進む姿が励ましになればいいと思いました。私自身も、もし今仕事をしているフィールドで必要とされなくなったら、いつでも辞めて、他のことができるだけの度胸と能力をつけたい、いつもそういう気持ちでいますし、そんな思いをチャングムに込めてあります。(中略) どんな時でも主体性をもって道を切り開いていく、それがチャングムですし、彼女の生きる姿そのものがドラマのメッセージにつながっているのです⁴⁴。

と述べている。女性である作家自身の経験から、「このような女性でありたい」という希望が託された理想的な人物がチャングムなのである。

チャングムは、性的な魅力を利用し権力を貪った既存の時代劇の女性主人公とは違って、その実力を王様に認められ、主治医に任命された女性である。飛び抜けた才能にうぬぼれるのではなく地道に努力し、他人に対する思いやりとやさしさをも兼ね備えたチャングムは、主体的に自分の道を切り開いてきた。彼女は現代を生きる女性たちにとっても模範となる存在である。

IV. チャングムの後を継ぐ時代劇の女性たち

- 女性リーダーシップの現れ -

『チャングムの誓い』の後、男尊女卑の名残がある韓国社会で長い間歴史の中で埋もれていた女性たちに照明が当てられるようになり、彼女たちへの評価も改められるようになった。

とりわけ2009年は女性ヒロインを主人公にした時代劇が各放送局で次々と作られた。代表的なドラマとして『善徳女王』(MBC)と『千秋太后』(KBS)を挙げることができる。そこから見えてきたのは、卓越した女性のリーダーシップであった。

2009年に放送され40%を超える最高視聴率を記録した『善徳女王』は、韓国の時代劇としては初の女王を描いた作品である。

朝鮮半島の歴史上でも初の女王である善徳女王は、新羅の第27代の王として632年に即位し16年間新羅を統治した。彼女が即位した632年、新羅は朝鮮半島北部を占める高句麗と西南部を占める百済と激しく領土争いを繰り返していた。善徳女王は唐の支援を得ることが大事だと考え、あえて身を低くして唐のご機嫌をうかがった⁴⁵という。



図5. 朝鮮半島史上初の女王を題材にした『善徳女王』

彼女は卓越したリーダーシップの持ち主であった。『三国史記』には、「寛仁明敏(情け深く寛大であり聡明だ)」と記されている⁴⁶。彼女の優れた知恵と慧眼については多くの説話が伝えられている。

一つ目は、中国から贈られた牡丹の花の絵を見ただけで、一緒に贈られてきた種から咲く花に香りが無いことを予知したことである。二つ目は、ヒキガエルの鳴き声を聞いて百済軍の侵入に気付く、逆襲して全滅させたことである。三つ目は、自ら予言した日に亡くなったことである。これらは短編的な説話であるが、善徳女王がリーダーとしての直観力があり、未来の出来事に備えて賢明に対処したことを表していると考えられる。

それだけではなく、彼女は人材を見極める目も抜きん出ていた。彼女が抜擢した金庾信キムユシンと金春秋キムチュンチュは、新羅を強国に導いていき、後に新羅が三国を統一することに貢献した。

また善徳女王は善政を行い、生活が苦しい人々をよく慰問したと伝えられる。税金を1年間免除するという政策を実施したこともあった⁴⁷。民衆から慕われ、信頼されたのも当然のことであった。

このような彼女のリーダーシップがドラマによって再び注目を浴びたのである。努力と知恵で数々のピンチを切り抜け、自分が選んだ道を突き進みながら目標を達成していく姿は『チャングムの誓い』のチャングムに重なる。しかし彼女は、そこからもう一歩進んで敵対する者をも味方につける。ドラマでは彼女がリーダーとしてどのように臣下たちを率いて困難を乗り越えるかが描かれている。ドラマ『善徳女王』が今まで見たことのない女性像を提示したことはいうまでもない。

次に述べておきたいドラマは『善徳女王』より4ヶ月前に放送が始まった『千秋太后』である。

千秋太后は高麗の始祖・王健の孫であり、高麗5代王・景宗キョンジョンの妃であると同時に6代王・成宗ソンジョンの妹であり、7代王・穆宗モクジョンの母であり、8代王・顕宗ヒョンジョンのおばである⁴⁸。



図6. 強い高麗を築いた女傑『千秋太后』

千秋太后は王の母として背後で影響力を行使することにとどまらず、自ら政権の前に進み出て、強力な指導力を発揮した。特に彼女が力を入れたのが北方の防衛だった。当時、契丹が勢力を強めて高麗の領土を奪う動きを見せており、千秋太后は北の国境沿いに多くの城塞を築いた。この功績は大きく、城塞は契丹の侵入を防ぐ有効な砦となった⁴⁹。

彼女は強い高麗を築き、外敵から国を守ろうとしたが、朝鮮時代には国を乱した淫らな女と非難された。

息子である第7代王・穆宗に跡継ぎがいなかったため、千秋太后は愛人の金致陽キムチヤンとの間に生まれた息子を次代の王に即位させようとしたのだ。この企みは失敗に終わり、千秋太后は家臣に裏切られ全てを失う。権力の座から降ろされ故郷に戻った千秋太后はそれから20年後の1029年に亡くなった。

千秋太后が権力欲の強かった悪女として非難されてきたのは、彼女を追い落とした勢力の記録によるものである。契丹の進入により焼失した記録を新羅系の儒学者たちが書き換えたのだ。

それに朝鮮時代は支配思想が儒教であったため、女性が表に出ることを嫌った。まして千秋太后は貞操を守らず、愛人との間で息子を儲けたので淫らな女の烙印を押された。しかし、このような評価は当時の慣習などを無視した偏狭な見解である。高麗時代は女性の結婚と再婚が朝鮮時代に比べ自由であったのだ。

彼女が悪女の汚名を返上し、国を守るために戦った女傑と再評価されるようになったのは最近のことである。歴史の片隅で非難され忘れられていた一人の女性を蘇らせ、彼女に対する人々の認

識の変化にドラマが与えた影響は大きい。

能力のある女性たちが社会の隅々で活躍している女風の時代に、自ら馬に乗り戦場で陣頭指揮した女傑を描いた『千秋太后』は、現代を生きる女性たちへ示唆に富む。

V. まとめ

女性として初めて王の主治医になったチャングム、朝鮮半島史上初の女王である善徳女王、国を守るため戦場で戦った千秋太后にいたるまで、近年時代劇の中の女性たちは強くなった。

テレビドラマに現れた強い女性たちを見て視聴者たちは、女性リーダーシップの必要性和憧れを感じたに違いない。その願望が実社会にも反映され、女性法務長官や女性国務総理が誕生した。やがて女性大統領まで選出された。

本稿での考察を通してドラマが単なる娯楽物ではなく、現代社会の在り方を映し出し、時代を先導するものであるということが分かった。次はどのような女性主人公が登場するのであろうか。今後もドラマから目が話せない。

¹ 国家公務員上級職。

² 『週刊東洋経済』(2010.7.31) 68頁。

³ 「女性議員史上最多47人」(『ヘラルド経済』2012年4月12日付け) http://news.heraldm.com/view.php?ud=20120412000175&md=20120412085657_C (2012年7月5日検索)。

⁴ 『週刊東洋経済』(2010.7.31) 68頁。

⁵ 「女子学生の進学率、男子学生を抜いたが…」(『ハンギョレニュース』2011年6月27日付け) http://www.hani.co.kr/arti/economy/economy_general/484759.html (2012年7月3日検索)。

⁶ 『ニュースウィーク日本版』(2005.5.18) 29頁。

⁷ 公務員採用時にどちらかの性の合格比率が30%未満の場合、目標比率に達するよう追加合格させた。『週刊東洋経済』(2010.7.31) 69頁。

⁸ 比例代表候補者は50%以上、選挙区候補者は30%以上。同上。

⁹ 現「女性家族部」。

¹⁰ 「男女平等放送賞大賞「大長今」」(『連合ニュース』2004年12月10日付け) <http://news.naver.com/main/read.nhn?mode=LSD&mid=sec&sid1=106&oid=001&aid=0000848678> (2012年7月18日検索)。

¹¹ 「コリアドラマフェスティバル」ホームページ <http://www.kdfo.org/2011/ko/drama/best02.asp> (2012年7月5日検索)。

¹² パク・ジェボク『韓流、グローバル時代の文化競争力』(サムスン経済研究所、ソウル、2005) 28頁。

- ¹³ 同上。
- ¹⁴ 香港では、企業側も「百折不撓」するチャングムの意志を見習うべきと唱えた。「香港占領「大長今」」(『ヘラルド経済』2005年5月3日付け) <http://news.naver.com/main/read.nhn?mode=LSD&mid=sec&sid1=106&oid=016&aid=0000171209> (2012年7月11日検索)。
- ¹⁵ 「宮廷女官チャングムの誓い」NHK 地上波放送が確定」(『中央日報日本版』2005年9月14日付け) <http://japanese.joins.com/article/646/67646.html?sectcode=&servcode=700> (2012年7月11日検索)。
- ¹⁶ 康熙奉『朝鮮王朝の歴史と人物』(じっぴコンパクト新書、2011) 18頁。
- ¹⁷ 木寄正弘編『韓国ドラマ・ガイド宮廷女官チャングムの誓い後編』(NHK 出版、2005) 111頁。
- ¹⁸ 「ドラマ「大長今」伝説になった理由」(『asiatoday』2011年11月7日付け) <http://www.asiatoday.co.kr/news/view.asp?seq=551822> (2012年7月11日検索)。
- ¹⁹ ナム・ミョンジャ「テレビドラマに表れている韓国女性像に関する分析」『韓国言論学報』第17巻(1984)。
- ²⁰ 張緑水(生年不詳～1506年): 第10代燕山君の側室。奴婢として育ち、妓生となった彼女は芸術的な分野で類まれなる才能を開花。王に寵愛された彼女は暴政をしていた燕山君とともに享楽にふけり、民衆から憎悪された。鄭大成『朝鮮王その虚像と実像』(TOKIMEKI パブリッシング、2011) 121頁。
- ²¹ 鄭蘭貞(生年不詳～1565年): 妓生であった頃文定王后の弟・尹元衡の側室として迎えられ、正妻亡き後は継室となった。後に文定王后の幼い息子・明宗が即位すると王后とともに政治に介入。国家権力を私物化したとされる。同上、71頁。
- ²² 張禧嬪(1659年～1701年): 朝鮮王朝史の中で唯一、中人というあまり高くない身分から王妃となった人物。女官として宮中に入った後、その美貌から肅宗の側室に。1688年には李昉(後に景宗)を産み、王の側室の最上位である「嬪」に昇進、李昉が3歳で皇太子になると王妃となった。しかし権力争いに巻き込まれ、1701年肅宗から死を贈った。同上、152頁。
- ²³ 『チャン・ノクス』(1995、KBS)、『女人天下』(2001～2002、SBS)、『チャン・ヒビン』(2002～2003、KBS)。
- ²⁴ クォン・ヨンソク『「韓流」と「日流」文化から読み解く日韓新時代』(NHK ブックス、2010) 129頁。
- ²⁵ 最下層の身分である奴婢。
- ²⁶ 朝鮮時代に犯罪者を捕まえるために設置した官庁。
- ²⁷ 医女制度が設けられたのは1406年のこと。男女のしきたりが厳しいこの国で、男性医師の診察を受けることを拒否する女性を診る目的で始まった。
- ²⁸ 「テンギ髪のカリヤアウーマン」(『ハンギョレ』21) 2003年8月13日付け) <http://news.naver.com/main/read.nhn?mode=LSD&mid=sec&sid1=114&oid=036&aid=0000002524> (2012年7月18日検索)。
- ²⁹ 王の食事を担当する宮廷内の厨房。木寄正弘編『韓国ドラマ・ガイド宮廷女官チャングムの誓い前編』(NHK 出版、2005) 11頁。
- ³⁰ 女官の職位のひとつを表した言葉。同上、12頁。
- ³¹ 朝鮮第11代目の王様で在位は1506～1544年。
- 木寄正弘編『韓国ドラマ・ガイド宮廷女官チャングムの誓い後編』(NHK 出版、2005) 4頁を基に作成。
- ³³ 当時の出来事や政治の実態などを王の言動を中心に年代順に記録した壮大な書物。春秋館の官士によって書かれたもので、内容も信憑性が高い。康熙奉『朝鮮王朝の歴史と人物』(じっぴコンパクト新書、2011) 22頁。
- ³⁴ 同上、24頁。
- ³⁵ 中宗73巻、28年(1533年)2月11日『朝鮮王朝実録ホームページ』http://sillok.history.go.kr/viewer/viewtype1.jsp?id=kka_12802011_001&grp=&aid=&sid=0&pos=0 (2012年7月20日検索)。
- ³⁶ 中宗105巻、39年(1544年)10月26日『朝鮮王朝実録ホームページ』http://sillok.history.go.kr/viewer/viewtype1.jsp?id=kka_13910026_001&grp=&aid=&sid=0&pos=0 (2012年7月20日検索)。
- ³⁷ 鄭大成『朝鮮王その虚像と実像』(TOKIMEKI パブリッシング、2011) 63頁。
- ³⁸ イ・スング、ソ・ヒョンスク「歴史の中の女性の人生」『親女性学講義－韓国社会、女性、ジェンダー』(ドンニョク、ソウル、1999) 67頁。
- ³⁹ 男子たるものは外にいて内を語らず、女子は内にいて外を語らずという、内外を区別する名分思想である。趙恵貞/春木育美訳『韓国社会とジェンダー』(法政大学出版部、2002) 28頁。
- ⁴⁰ 小林孝行編『変貌する現代韓国社会』(世界思想社、2000) 49頁。
- ⁴¹ DVD『チャングムの誓い』(バップ、2005)
- ⁴² 宮中内での診療を行う医院。男性の医務官や医女たちが勤務している。木寄正弘編『韓国ドラマ・ガイド宮廷女官チャングムの誓い後編』(NHK 出版、2005) 10頁。
- ⁴³ 同上、52頁。
- ⁴⁴ 木寄正弘編『韓国ドラマ・ガイド宮廷女官チャングムの誓い前編』(NHK 出版、2005) 120～121頁。
- ⁴⁵ 康熙奉『古代韓国の歴史と英雄』(じっぴコンパクト新書、2011) 159頁。
- ⁴⁶ 「寛大な善徳女王、臣下・民衆を抱いた W リーダーシップの元祖」(『アジア経済』2012年11月22日付け) <http://view.asia.co.kr/news/view.htm?idno=2012112211074903699&nvr=Y> (2013年7月11日検索)。
- ⁴⁷ 康熙奉『古代韓国の歴史と英雄』(じっぴコンパクト新書、2011) 160頁。
- ⁴⁸ 同上、184頁。
- ⁴⁹ 同上、185～186頁。

参考文献

<日本語>

康熙奉(2011)『朝鮮王朝の歴史と人物』じっぴコンパクト新書

木寄正弘編(2005)『韓国ドラマ・ガイド宮廷女官チャングムの誓い前編』NHK 出版

木寄正弘編(2005)『韓国ドラマ・ガイド宮廷女官チャングムの誓い後編』NHK 出版

- クォン・ヨンソク (2010) 『「韓流」と「日流」文化から読み解く日韓新時代』 NHK ブックス
小林孝行編 (2000) 『変貌する現代韓国社会』 世界思想社
鄭大成 (2011) 『朝鮮王その虚像と実像』 TOKIMEKI パブリッシング
趙恵貞 / 春木育美訳 (2002) 『韓国社会とジェンダー』 法政大学出版部

<韓国語>

- イ・スング、ソ・ヒョンスク (1999) 「歴史の中の女性の人生」 『親女性学講義－韓国社会、女性、ジェンダー』 ドンニョク
パク・ジェボク (2005) 『韓流、グローバル時代の文化競争力』 サムスン経済研究所

<論文及び学術誌>

- ナム・ミョンジャ (1984) 「テレビドラマに表れている韓国女性像に関する分析」 『韓国言論学報』 第17巻

<新聞、雑誌資料>

- 『週刊東洋経済』 (2010.7.31)
『ニュースウィーク日本版』 (2005.5.18)

<インターネットサイト>

- 『朝鮮王朝実録ホームページ』
<http://sillok.history.go.kr/>

謝辞

本稿の作成にあたり、丁貴連先生から終始適切な助言を賜りました。この場を借りて深く感謝の意を表します。

“여풍”을 선도한 텔레비전 드라마

- < 대장금 > 을 중심으로 -

The phenomenon of “Yeopung” promoted by television dramas

- Focused on Korean television drama “Jewel of the palace” -

최보윤

(Choi Boyun)

<요지>

현재 한국사회는 여성대통령이 집권하는 등 여성들의 활약이 눈부시다. 이러한 현상을 여풍(女風)이라고 한다. 2000년대 후반부터 거세진 여풍을 선도한 것은 다름아닌 텔레비전 드라마였다. 2003년 방송되어 한국 뿐만 아니라 전세계적으로 인기를 얻은 드라마 <대장금>이 바로 그것이다.

기존의 사극 속 여주인공은 주변적인 인물로 그려졌으며, 캐릭터도 현모양처 또는 임금의 뒤에서 음모를 꾸미는 권력욕이 강한 악녀 위주였다. 그러나 2003년부터 새로운 여성상이 드라마에 등장하기 시작했다. 2003년은 남녀평등을 주장하며 기존의 권위주의 사회에 반기를 들었던 노무현 씨가 대통령으로 당선된 해이기도 하다. 노무현 대통령은 강금실 씨를 여성으로서 최초로 법무부 장관으로 발탁하는 등 파격적인 인사정책을 폈다. 당시는 국민들의 사회변혁에 대한 기대가 최고조로 부풀어있었다.

이같은 사회의 변화는 드라마에도 반영되어, 같은 해 7월 방송된 드라마 <다모>에서부터 여성 주인공의 캐릭터도 변화하였다. 다모는 조선시대의 여형사를 말한다. <다모>는 여성과 천민이라는 이중의 굴레에서 고통받으면서도 일과 사랑에 있어서 역경을 헤쳐나가는 진취적인 여성상을 제시하였다. <다모>에 이어서 천민 여성을 주인공으로 한 드라마가 <대장금>이다. <대장금>은 요리, 의술과 같은 전문적인 지식과 실력으로 경쟁하는 여성들을 등장시켜, 기존 사극이 여성들의 시기와 궁중암투를 극대화했던 것과는 차별화 된다.

여성들의 주체성 확립에 영향을 끼친 <대장금>은 남존여비 사상이 팽배하던 봉건적 사회 질서 하에서 천민의 신분으로 태어난 여성이 타고난 재능과 끊임없는 노력으로 수라간 나인을 거쳐 임금의 주치의가 되는 과정을 그린 드라마이다.

이 드라마는 여성의 사회참여 및 능력개발의 필요성, 여성들의 우정을 그려냄과 동시에 역사에 묻혀 있던 한 여성의 의미있는 성공례를 소개한 것으로 평가되어 2004년 여성부가 주최한 “제 6회 남녀평등 방송상”에서 대상을 수상하였다.

대장금 이후, 역사속에서 평가절하되거나 잊혀져갔던 여성들에 대한 재조명이 활발히 이루어졌다. 사극에도 강한 여성들이 등장해, 탁월한 리더쉽을 보여주었다. 한국 역사상 최초의 여왕인 신라의 선덕여왕을 그린 <선덕여왕>과 강한 고려를 이룩하기 위해 외적과 맞싸 싸운 여걸 <천추태후> 등이 인기를 끌었다. 지혜와 능력을 갖췄으며 주체적으로 자신의 길을 개척해 온 그녀들은 현대를 살아가는 여성들에게 시사하는 바가 크다.

(2013年7月16日受理)